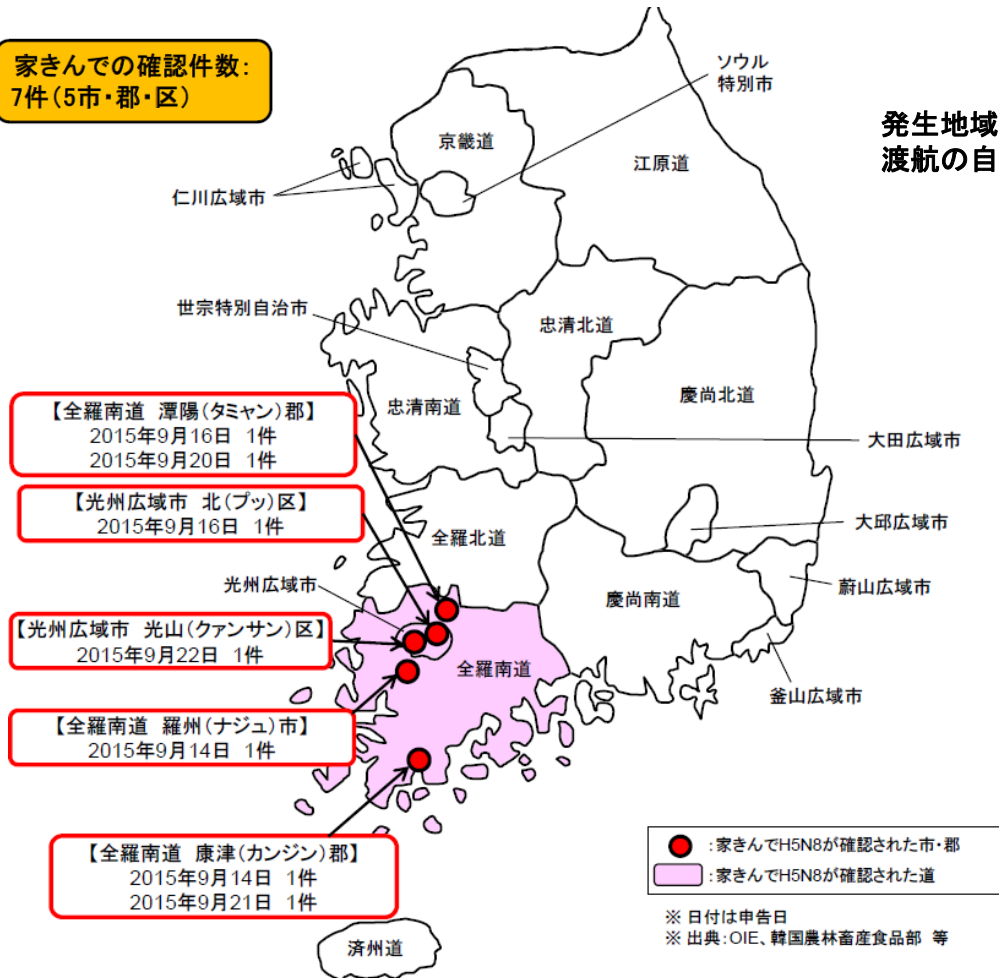


渡り鳥のシーズン到来

韓国で9月 H5N8高病原性鳥インフルエンザ続発！！

家きんでの確認件数：
7件(5市・郡・区)

発生地域への
渡航の自粛をお願いいたします



米国では平成27年春以降、本病発生で5千万羽殺処分されました。
 渡り鳥の飛来ルートを考慮すると
 北米大陸→ロシア→日本 と経由し侵入する危険性があります。

引き続き飼養衛生管理基準の遵守をお願いいたします

下記項目を特に今一度ご確認ください

飼養衛生管理基準の遵守状況を
巡回点検中です

- ・衛生管理区域の設定
- ・踏込消毒槽
- ・車両消毒徹底
- ・防鳥ネットの設置・補修
- ・ネズミの侵入防止、駆除の徹底
- ・新鮮な水道水の使用



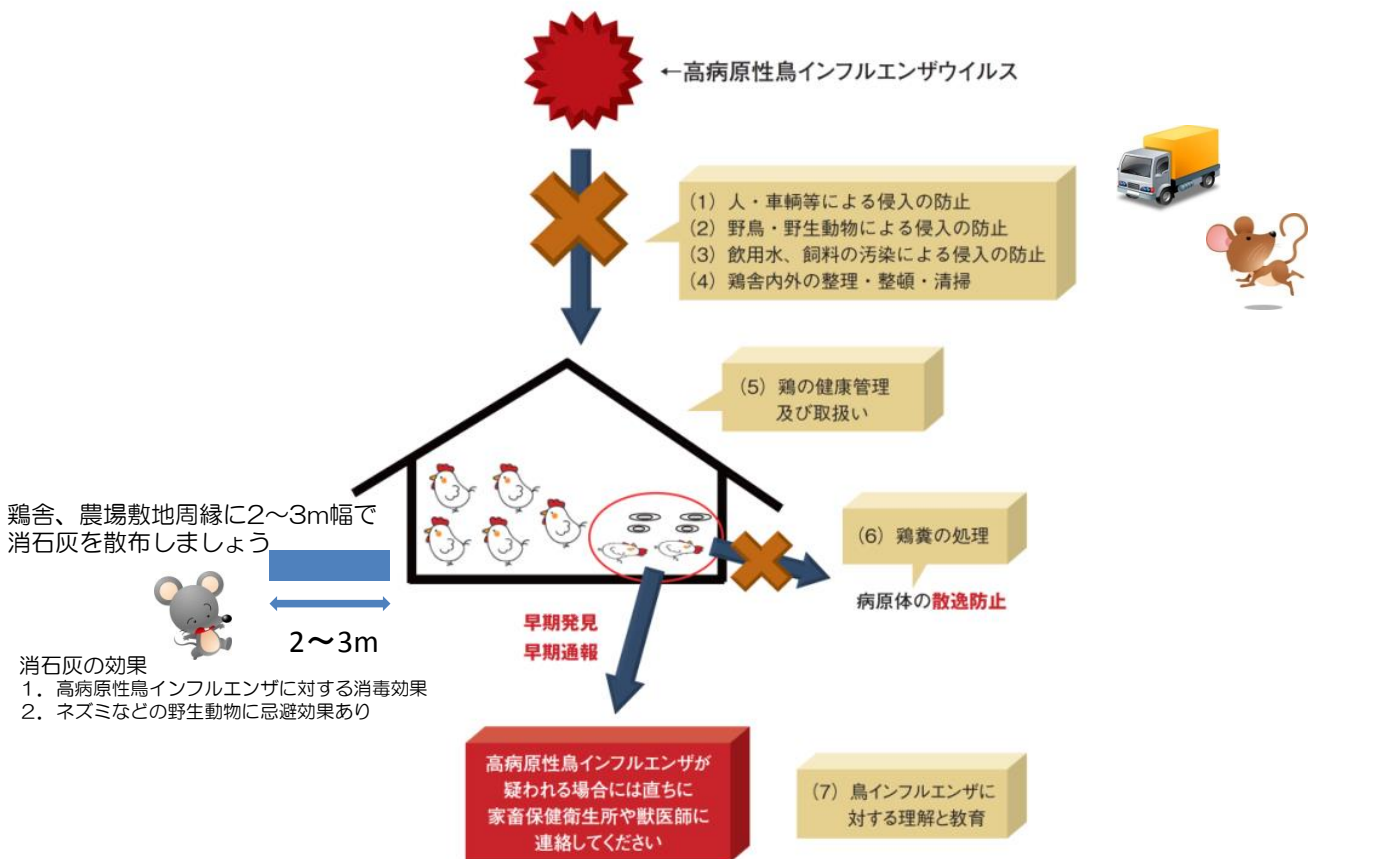
異常を認めた場合は、すぐに家畜保健衛生所へ
 連絡してください
 0574-25-3111

●閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください
 つながらない場合は 0574-25-3484 へ
 土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けます

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

高病原性鳥インフルエンザの発生を防止するために



(1) 人・車輛等による侵入の防止

- ・農場出入口：外来者の出入りを監視したり、外来車輛の消毒等を確認しましょう。
- ・鶏舎出入口：外来者の出入りは最小限度とした上で、衛生的な区画と非衛生的な区画を分離しましょう。衣服等に伝播するのを防止できる構造にしましょう。
- ・鶏舎内：踏込消毒槽と手指消毒用手押し式消毒器または消毒薬噴霧器を設置しましょう。

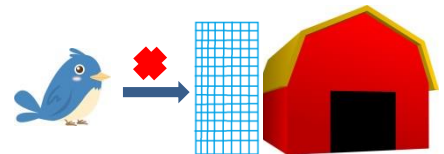
気温が低い時期の消毒薬の効果が下がります
有効希釈倍率を調べて使用しましょう



(2) 野鳥・野生動物による侵入の防止

- ・鶏舎には2cm角以下の網目の防鳥ネットを上から覆うように、ゆったりと垂らすように張り、間隙を塞ぎましょう。また、破損が見つかったら、直ちに補修しましょう。
- ・防鳥対策と同様、間隙を塞ぎ、ネズミの侵入を防止しましょう。
- ・ネズミを見つけた場合、その侵入経路を見つけ、捕獲装置の設置、殺鼠剤の使用により駆除しましょう。
- ・鶏舎周辺、農場敷地周縁及び農場内道路へ消石灰を散布しましょう。
- ・鶏舎の中に入ったら、すぐに扉を閉めましょう。

防鳥ネットを設置しましょう



(3) 飲用水・飼料の汚染による侵入の防止

- ・新鮮な水道水を使いましょう。(貯留したままにすると塩素濃度が低下します。)
- ・水道水以外を使用する際には、鶏が飲む時に遊離塩素濃度が0.1ppm以上含まれるように調整を行い、濃度は定期的に確認しましょう。
- ・飼料タンク付近にこぼれ餌がないよう、常に清潔を保ちましょう。
- ・倉庫等は、鶏舎と同様に野鳥等の侵入防止及びネズミの駆除を徹底しましょう。

新鮮な水道水を使用しましょう

